Synology®

DSM脆弱性対策

HTTP2無効化手順



KSG株式会社

■目次

1.概要 …P.2
2. DSMへのログイン …P.3
3. HTTP/2の無効化 …P.5

1.概要

Synology社より、CVE-2026-123007 および CVE-2026-123633 の脆弱性に対する暫定的な回避策として、HTTP/2を無効にすることが推奨されています。本脆弱性に対応したDSMの更新版については、今後Synology社から提供される予定です。本手順書では、対応版DSMが提供されるまでの暫定的な回避策として、HTTP/2を無効にする手順をご案内します。

■ 対象脆弱性
・CVE番号：CVE-2026-123007、CVE-2026-123633
・アドバイザリ：Synology-SA-26:20

【注意事項】
■HTTP/2の無効化の影響範囲について

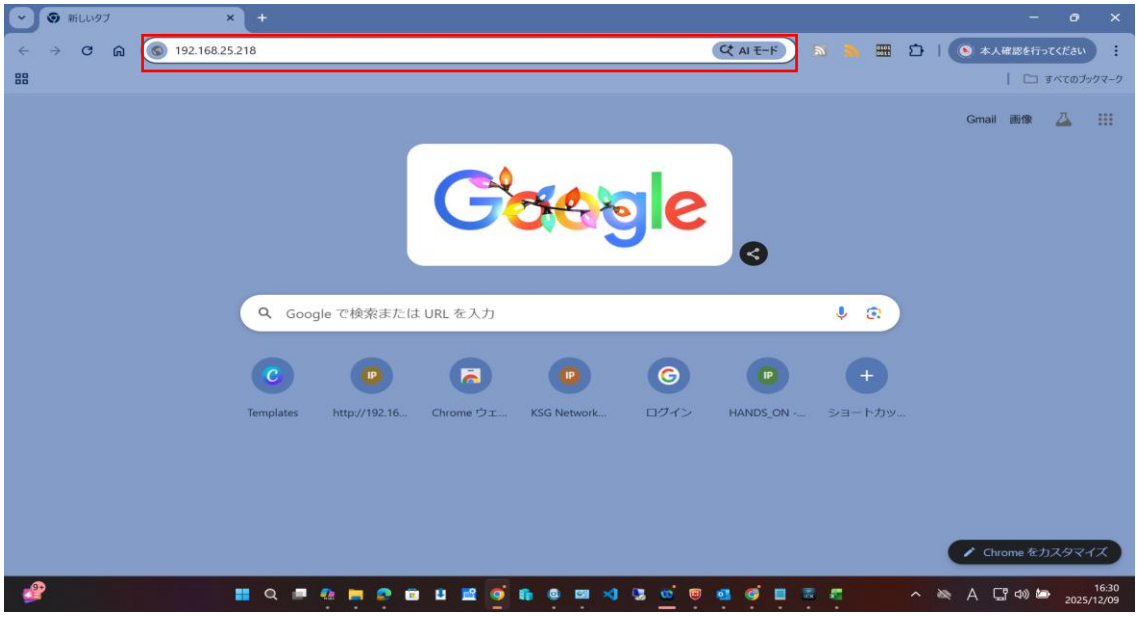
HTTP/2を無効にすると、HTTP/1.1による通信に切り替わります。そのため、通信環境や利用状況によっては、Web画面の表示やデータ転送に時間がかかる場合があります。また、本設定は暫定的な回避策です。Synology社から対応版DSMがリリースされた場合は、メーカーの案内に従ってアップデートを実施してください。詳細については、Synology社のセキュリティアドバイザリをご確認ください。
https://www.synology.com/ja-jp/security/advisory/Synology_SA_26_20

2. DSMへのログイン

事前に下記情報をご準備下さい。
・SynologyNASのIPアドレス(ネットワークの情報)
・SynologyNASにログインする管理者のユーザ名、パスワード



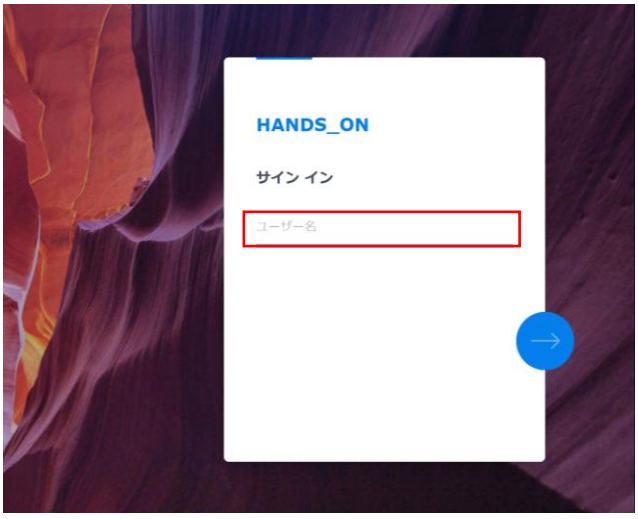
ブラウザを起動します。

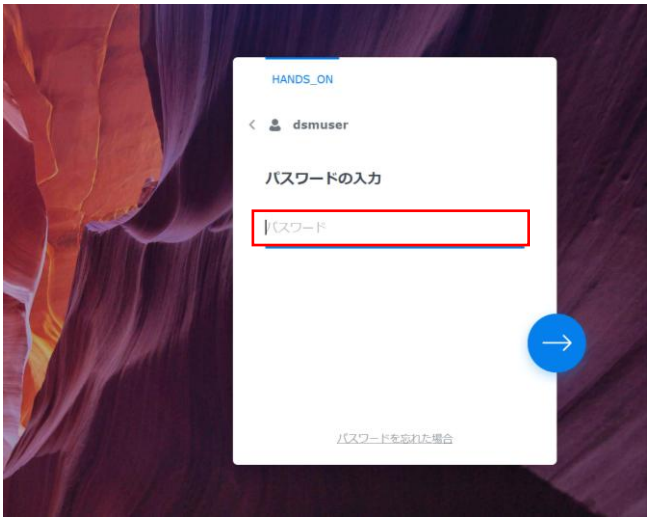


検索バーに「SynologyNASのIPアドレス」を入力します。

■Synology NASを見つけられない場合

・SynologyNASとコンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください
・Synology NASとコンピュータが同じスイッチ(ネットワーク)に繋がっていることを確認してください
・別のブラウザ(Chrome や Firefox など) を使用し接続確認をしてください
上記を実施いただいてもSynology NASを見つけられない場合は、Synology NASの再起動を実施します。Synology NASの電源ボタンを4秒間長押しし、電源ボタンが青く点滅後、電源ボタンを離します。
電源ボタンが消灯後、電源ボタンを一回押します。
Synology NASが起動後再度検索を行い接続ができるか確認します。





Synology NASのサインイン画面が表示されます。 管理者のユーザー名とパスワードを入力しサインインします。

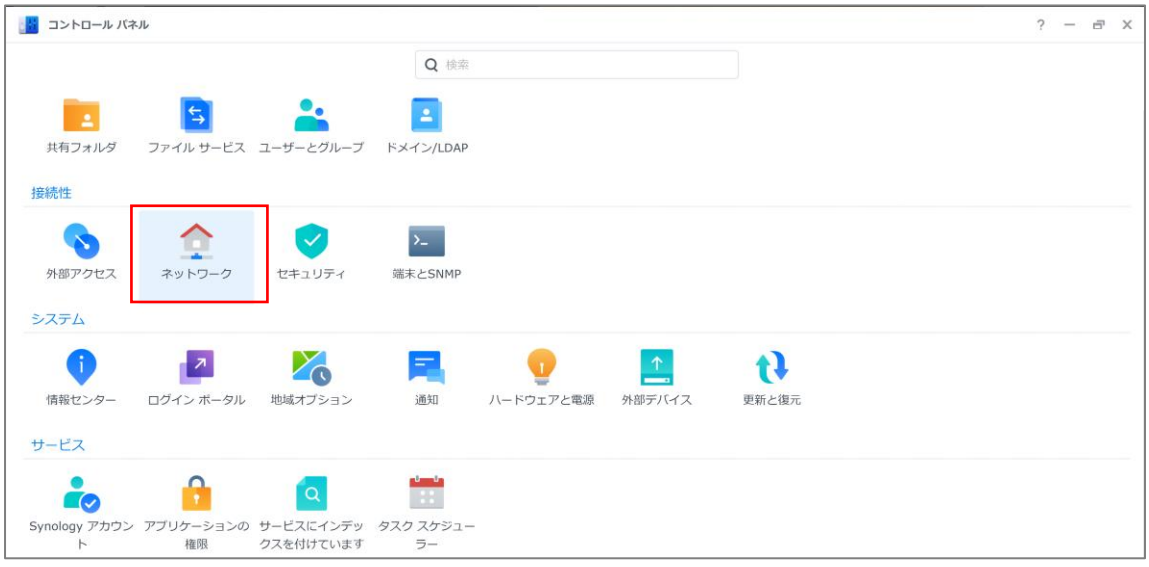
管理者のユーザ名、パスワードがご不明の場合、下記リンクを参照し、パスワードのリセットを行います。Synology NASの背面にあ「RESET」ボタンをクリップなどで、警告音がなるまで押します。
リセット後、ログイン画面より「ユーザー名:admin」を入力し、パスワードなしの状態で 「サインイン」をクリックします。 新しくパスワードを設定する画面が表示される為、新規でパスワードを設定します。
設定したパスワードで管理画面へのログインを行います。

https://kb.synology.com/ja-jp/DSM/tutorial/How_do_I_log_in_if_I_forgot_the_admin_password

3. HTTP/2通信の無効化手順



［コントロールパネル］をクリックします。



メニュー一覧の中から［ネットワーク］をクリックします。



［接続性］のタブ内の［HTTP/2を有効にする］のチェックを外し、画面右下の［適用］をクリックします。



［Webサーバーを起動中…］のメッセージが消えるまで、そのままお待ちください。1分以内に再起動が完了します。再起動完了後に設定が反映されていることを確認してください。
以上で、HTTP/2の無効化は完了です。